

竹田陽一の経営随筆集

2022年3月1日 第1号



講演を始めて50年

私はこれ迄、4300回を超す講演をしてきました。講演を始めたのは、企業調査会社に勤めていた33歳の時だったので、今年でちょうど50年になります。

講演を始めたきっかけは、アメリカで生命保険の販売をしていたフランク・ベドガーが書いた本に、「講演をすると飛込み訪問では会えない、良い見込客と会える」という、文章が載っていたのを読んだからです。そのあと得意先サービスの一環として、「危ない会社の見分け方」のテーマで、営業マンを対象に講演を始めました。

4300回の講演を全部思い出すことはできませんが、その中には思い出に残るものがいくつもあります。50年の人生を振り返ると、能力開発という観点で最も役立ったのは、講演であることが解ります。

その1つ目は、講演をするにはテーマを決めなければなりません。テーマを決めたあとはそのテーマについて研究を始めます。この場合「多くの人前で恥をかいてはいけない」という「恐怖心」があるので、話すテーマの研究には特別に力が入ります。

2つ目は、新聞や雑誌を読んでいるとき、講演に関連する記事が載っていると、それが「パツ」と目に入ってくるので、テーマについての情報量がとて多くなります。

3つ目は、講演をするために詳しいテキストを作ります。何回も書き直したり作り直しをするので、内容が良くなり全体の流れも良くなります。

4つ目は、講演テーマは1つだけだとほどなく一巡するので、次のテーマを開発しなければなりません。次の講演テーマで3時間位の話ができるだけのものを開発するには、多くの研究時間が必要になります。

このようにして持ちテーマを1つ1つ増やしていき、結局講演を始めて25年位したときには、経営のフルラインの話ができるようになりました。そればかりかこれによって、CD200巻DVD100巻の戦略教材の制作ができるようになったのです。

このような事情から税理士や社労士、それに行政書士など「士業」と呼ばれる人は、講演をされるとその仕事により詳しくなるばかりか、多くの人と知り合いになれるので、経営上都合が良くなります。もちろん経営を後継者に譲ったあと会長になった人は、これ迄の体験を整理して講演をすると、実践的な良い話ができるでしょう。

<参考> 講演に関心がある方は、「あなたも名講師になれる」CD4巻。4時間37分。テキスト付。定価22,000円(税込)が役立ちます。<https://www.lanchest.com/h-58/>

Lanchester

ランチェスター経営(株)



〒810-0012 福岡市中央区白金1-1-8 チュリス薬院301

TEL 092-535-3311 FAX 092-535-3200

メールアドレス customer@lanchest.co.jp HP <https://www.lanchest.com>